



平成 26 年 12 月 12 日

各 位

会社名 オカモト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡本 良幸  
(コード番号 5122 東証第 1 部)  
問合せ先 取締役総務部長 有坂 衛  
(TEL. 03-3817-4121)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 30 日付適時開示「不適切な会計処理の判明について」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 26 年 2 月 7 日付「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121  
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	58,255	8.6	<u>2,833</u>	<u>△4.8</u>	<u>3,941</u>	<u>8.6</u>	<u>2,623</u>	<u>19.3</u>
25年3月期第3四半期	<u>53,646</u>	3.4	<u>2,975</u>	<u>25.4</u>	<u>3,627</u>	<u>31.7</u>	<u>2,199</u>	<u>33.8</u>

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,852百万円(90.3%) 25年3月期第3四半期 2,549百万円(353.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第3四半期	円 銭 <u>25.88</u>	円 銭 —
25年3月期第3四半期	<u>21.16</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第3四半期	百万円 <u>79,619</u>	百万円 <u>45,191</u>	% <u>56.8</u>
25年3月期	<u>72,871</u>	<u>41,815</u>	<u>57.4</u>

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 45,191百万円 25年3月期 41,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50
26年3月期	—	3.75	—		
26年3月期(予想)				3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	1.4	3,050	<u>△4.5</u>	3,450	<u>△11.4</u>	2,100	<u>△4.8</u>	20.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	106,996,839株	25年3月期	106,996,839株
26年3月期3Q	6,741,890株	25年3月期	4,440,884株
26年3月期3Q	101,394,839株	25年3月期3Q	103,923,753株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果が現れるなかで、円安と株価上昇の動きもあり、景況感に改善が見られました。先行きについては、輸出が持ち直しに向かい各種政策の効果が下支えするなかで、家計所得や投資が増加し景気の回復基調が続くことが期待されます。

しかし、海外景気の下振れが引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、消費税引き上げに伴う駆け込み需要およびその反動が見込まれております。

このような経営環境のなか、当社グループは引き続き、製造コストと経費の削減に取り組んでまいりましたが、円安による輸入価格の上昇、原材料価格の高騰などによりコストアップが避けられない状況となりました。

結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は582億55百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は28億33百万円(前年同期比4.8%減)、経常利益は39億41百万円(前年同期比8.6%増)、四半期純利益は26億23百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 産業用製品

一般用フィルムは堅調に推移しましたが、工業用フィルムは海外需要が低迷し売上横這いとなりました。建材工業用フィルムは、住宅需要の好調により売上増となりました。多層フィルムは、食品用・産業用の需要が堅調に推移し売上微増となりました。農業用フィルムは、農POフィルムの販売が低迷し売上減となりました。壁紙は、住宅着工件数の伸びにより売上増となりました。フレキシブルコンテナーは、石油化学樹脂用の需要が増加し売上増となりました。自動車内装材は、新車種受注による販売量のアップおよび新興国での需要が回復し売上大幅増となりました。粘着テープは、国内需要が減少するなか、新規獲得により売上微増となりました。工業用テープは、住宅建材関連が堅調に推移しましたが、電材業界の低迷により売上減となりました。食品衛生関連商品は、新規獲得および外食産業の回復により売上増となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、食肉加工用が低調で売上微減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は335億43百万円(前年同期比10.0%増)、セグメント利益は13億89百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

## ② 生活用品

コンドームは、市場が縮小傾向にあるものの、薄物の企画・販売が好調で売上増となりました。除湿剤は、新規取引先の増加と拡販政策により売上増となりました。カイロは、気温が比較的に高めの日が多く、店頭での販売が低迷し売上減となりました。手袋は、食品用・医療用・産業用が好調で売上増となりました。メディカル製品のうち滅菌器は売上微増となりました。ブーツ・雨衣は、積極的な拡販政策を行ったことにより売上増となりました。シューズは、新ブランドの導入等により売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は246億85百万円(前年同期比6.6%増)、セグメント利益は23億48百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

## ③ その他

従来の事業に加え、群馬県太田市で太陽光発電事業を開始しました。

当セグメントの売上高は26百万円(前年同期は1百万円)、セグメント利益は93百万円(前年同期比18.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は796億19百万円で、前連結会計年度末と比べ67億47百万円増加しております。

流動資産は459億32百万円で、前連結会計年度末と比べ33億43百万円の増加となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が38億90百万円増加し、現金及び預金が2億82百万円減少したことによるものです。

固定資産は336億86百万円で、前連結会計年度末と比べ34億3百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が28億50百万円増加したことによるものです。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は344億27百万円で、前連結会計年度末と比べ33億71百万円増加しております。

流動負債は253億13百万円で、前連結会計年度末と比べ20億96百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金19億98百万円、短期借入金が4億44百万円増加し、未払法人税等が4億48百万円減少したことによるものです。

固定負債は91億14百万円で、前連結会計年度末と比べ12億75百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金1億円、繰延税金負債が9億48百万円増加したことによるものです。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は451億91百万円で、前連結会計年度末と比べ33億75百万円増加しております。これは主として、利益剰余金18億59百万円、自己株式7億12百万円、その他有価証券評価差額金が18億76百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、最近の決算短信(平成25年5月10日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報(不適切な会計処理について)

当社静岡工場において、不適切な会計処理が判明したことから、外部の専門家で構成される第三者委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不適切な会計処理が確認されました。

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを決定しました。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,219	8,936
受取手形及び売掛金	21,103	24,994
商品及び製品	<u>7,052</u>	<u>7,447</u>
仕掛品	<u>1,530</u>	<u>1,241</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,744</u>	<u>1,916</u>
その他	<u>1,964</u>	<u>1,423</u>
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	<u>42,588</u>	<u>45,932</u>
固定資産		
有形固定資産	14,366	14,794
無形固定資産	149	212
投資その他の資産		
投資有価証券	14,766	<u>17,627</u>
その他	<u>1,192</u>	<u>1,255</u>
貸倒引当金	△7	△7
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>15,767</u>	<u>18,680</u>
固定資産合計	<u>30,282</u>	<u>33,686</u>
資産合計	<u>72,871</u>	<u>79,619</u>



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,554	18,552
短期借入金	2,044	2,489
未払法人税等	1,273	825
賞与引当金	774	396
その他	2,570	3,049
流動負債合計	23,217	25,313
固定負債		
長期借入金	1,000	1,100
退職給付引当金	3,922	4,131
その他	2,916	3,882
固定負債合計	7,838	9,114
負債合計	31,056	34,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	24,461	26,320
自己株式	△1,495	△2,207
株主資本合計	36,373	37,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,873	7,749
繰延ヘッジ損益	20	24
為替換算調整勘定	△451	△102
その他の包括利益累計額合計	5,442	7,671
純資産合計	41,815	45,191
負債純資産合計	72,871	79,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	53,646	58,255
売上原価	41,485	45,958
売上総利益	12,161	12,296
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,381	2,480
その他の販売費	1,839	2,026
給料及び賞与	2,404	2,372
賞与引当金繰入額	154	188
退職給付引当金繰入額	109	114
その他の一般管理費	2,297	2,282
販売費及び一般管理費合計	9,185	9,463
営業利益	2,975	2,833
営業外収益		
受取利息	16	24
受取配当金	295	388
不動産賃貸料	314	303
為替差益	106	502
その他	120	87
営業外収益合計	853	1,306
営業外費用		
支払利息	36	20
不動産賃貸費用	106	104
その他	57	74
営業外費用合計	201	198
経常利益	3,627	3,941
特別利益		
固定資産売却益	7	57
投資有価証券売却益	147	143
その他	11	—
特別利益合計	167	201
特別損失		
固定資産除却損	6	18
投資有価証券売却損	5	—
災害による損失	14	5
特別損失合計	25	23
税金等調整前四半期純利益	3,768	4,118
法人税、住民税及び事業税	1,511	1,435
過年度法人税等	71	—
法人税等調整額	△13	59
法人税等合計	1,569	1,494
少数株主損益調整前四半期純利益	2,199	2,623
四半期純利益	2,199	2,623

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,199	2,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	1,863
繰延ヘッジ損益	8	4
為替換算調整勘定	4	348
持分法適用会社に対する持分相当額	3	12
その他の包括利益合計	350	2,228
四半期包括利益	2,549	4,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,549	4,852
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>30,493</u>	23,151	<u>53,645</u>	1	<u>53,646</u>	—	<u>53,646</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	200	226	2,475	2,701	△2,701	—
計	<u>30,520</u>	23,351	<u>53,871</u>	2,476	<u>56,348</u>	△2,701	<u>53,646</u>
セグメント利益	<u>1,413</u>	2,523	<u>3,937</u>	113	<u>4,050</u>	△1,075	<u>2,975</u>

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,075百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,084百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,543	24,685	58,229	26	58,255	—	58,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	213	214	2,476	2,691	△2,691	—
計	33,545	24,898	58,443	2,503	60,946	△2,691	58,255
セグメント利益	<u>1,389</u>	2,348	<u>3,738</u>	93	<u>3,831</u>	△998	<u>2,833</u>

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△998百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,003百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正前)



平成26年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121  
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	58,255	8.6	<u>2,962</u>	<u>△6.0</u>	<u>4,165</u>	<u>9.5</u>	<u>2,799</u>	<u>20.9</u>
25年3月期第3四半期	<u>53,656</u>	3.4	<u>3,151</u>	<u>30.0</u>	<u>3,803</u>	<u>35.6</u>	<u>2,314</u>	<u>38.3</u>

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,028百万円(88.7%) 25年3月期第3四半期 2,664百万円(350.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第3四半期	円 銭 <u>27.61</u>	円 銭 —
25年3月期第3四半期	<u>22.27</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第3四半期	百万円 <u>80,001</u>	百万円 <u>45,573</u>	% <u>57.0</u>
25年3月期	<u>73,077</u>	<u>42,021</u>	<u>57.5</u>

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 45,573百万円 25年3月期 42,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50
26年3月期	—	3.75	—		
26年3月期(予想)				3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	1.4	3,050	<u>△4.2</u>	3,450	<u>△17.0</u>	2,100	<u>△11.6</u>	20.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	106,996,839株	25年3月期	106,996,839株
26年3月期3Q	6,741,890株	25年3月期	4,440,884株
26年3月期3Q	101,394,839株	25年3月期3Q	103,923,753株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果が現れるなかで、円安と株価上昇の動きもあり、景況感に改善が見られました。先行きについては、輸出が持ち直しに向かい各種政策の効果が下支えするなかで、家計所得や投資が増加し景気の回復基調が続くことが期待されます。

しかし、海外景気の下振れが引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、消費税引き上げに伴う駆け込み需要およびその反動が見込まれております。

このような経営環境のなか、当社グループは引き続き、製造コストと経費の削減に取り組んでまいりましたが、円安による輸入価格の上昇、原材料価格の高騰などによりコストアップが避けられない状況となりました。

結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は582億55百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は29億62百万円(前年同期比6.0%減)、経常利益は41億65百万円(前年同期比9.5%増)、四半期純利益は27億99百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 産業用製品

一般用フィルムは堅調に推移しましたが、工業用フィルムは海外需要が低迷し売上横這いとなりました。建材工業用フィルムは、住宅需要の好調により売上増となりました。多層フィルムは、食品用・産業用の需要が堅調に推移し売上微増となりました。農業用フィルムは、農POフィルムの販売が低迷し売上減となりました。壁紙は、住宅着工件数の伸びにより売上増となりました。フレキシブルコンテナは、石油化学樹脂用の需要が増加し売上増となりました。自動車内装材は、新車種受注による販売量のアップおよび新興国での需要が回復し売上大幅増となりました。粘着テープは、国内需要が減少するなか、新規獲得により売上微増となりました。工業用テープは、住宅建材関連が堅調に推移しましたが、電材業界の低迷により売上減となりました。食品衛生関連商品は、新規獲得および外食産業の回復により売上増となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、食肉加工用が低調で売上微減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は335億43百万円(前年同期比10.0%増)、セグメント利益は15億18百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

#### ② 生活用品

コンドームは、市場が縮小傾向にあるものの、薄物の企画・販売が好調で売上増となりました。除湿剤は、新規取引先の増加と拡販政策により売上増となりました。カイロは、気温が比較的に高めの日が多く、店頭での販売が低迷し売上減となりました。手袋は、食品用・医療用・産業用が好調で売上増となりました。メディカル製品のうち滅菌器は売上微増となりました。ブーツ・雨衣は、積極的な拡販政策を行ったことにより売上増となりました。シューズは、新ブランドの導入等により売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は246億85百万円(前年同期比6.6%増)、セグメント利益は23億48百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

#### ③ その他

従来の事業に加え、群馬県太田市で太陽光発電事業を開始しました。

当セグメントの売上高は26百万円(前年同期は1百万円)、セグメント利益は93百万円(前年同期比18.3%減)となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は800億1百万円で、前連結会計年度末と比べ69億23百万円増加しております。

流動資産は462億15百万円で、前連結会計年度末と比べ34億23百万円の増加となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が38億90百万円増加し、現金及び預金が2億82百万円減少したことによるものです。

固定資産は337億85百万円で、前連結会計年度末と比べ34億99百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が29億46百万円増加したことによるものです。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は344億27百万円で、前連結会計年度末と比べ33億71百万円増加しております。

流動負債は253億13百万円で、前連結会計年度末と比べ20億96百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金19億98百万円、短期借入金が4億44百万円増加し、未払法人税等が4億48百万円減少したことによるものです。

固定負債は91億14百万円で、前連結会計年度末と比べ12億75百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金1億円、繰延税金負債が9億48百万円増加したことによるものです。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は455億73百万円で、前連結会計年度末と比べ35億51百万円増加しております。これは主として、利益剰余金20億35百万円、自己株式7億12百万円、その他有価証券評価差額金が18億76百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、最近の決算短信(平成25年5月10日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,219	8,936
受取手形及び売掛金	21,103	24,994
商品及び製品	<u>7,024</u>	<u>7,407</u>
仕掛品	<u>1,867</u>	<u>1,658</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,761</u>	<u>1,994</u>
その他	<u>1,841</u>	<u>1,251</u>
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	<u>42,791</u>	<u>46,215</u>
固定資産		
有形固定資産	14,366	14,794
無形固定資産	149	212
投資その他の資産		
投資有価証券	14,776	<u>17,722</u>
その他	<u>1,196</u>	<u>1,258</u>
貸倒引当金	△7	△7
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>15,770</u>	<u>18,779</u>
固定資産合計	<u>30,286</u>	<u>33,785</u>
資産合計	<u>73,077</u>	<u>80,001</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,554	18,552
短期借入金	2,044	2,489
未払法人税等	1,273	825
賞与引当金	774	396
その他	2,570	3,049
流動負債合計	<u>23,217</u>	<u>25,313</u>
固定負債		
長期借入金	1,000	1,100
退職給付引当金	3,922	4,131
その他	2,916	3,882
固定負債合計	<u>7,838</u>	<u>9,114</u>
負債合計	<u>31,056</u>	<u>34,427</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	<u>24,674</u>	<u>26,709</u>
自己株式	<u>△1,495</u>	<u>△2,207</u>
株主資本合計	<u>36,586</u>	<u>37,908</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>5,866</u>	<u>7,742</u>
繰延ヘッジ損益	20	24
為替換算調整勘定	<u>△451</u>	<u>△102</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>5,435</u>	<u>7,664</u>
純資産合計	<u>42,021</u>	<u>45,573</u>
負債純資産合計	<u>73,077</u>	<u>80,001</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	53,656	58,255
売上原価	41,319	45,829
売上総利益	12,336	12,425
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,381	2,480
その他の販売費	1,839	2,026
給料及び賞与	2,404	2,372
賞与引当金繰入額	154	188
退職給付引当金繰入額	109	114
その他の一般管理費	2,297	2,282
販売費及び一般管理費合計	9,185	9,463
営業利益	3,151	2,962
営業外収益		
受取利息	16	24
受取配当金	295	483
不動産賃貸料	314	303
為替差益	106	502
その他	120	87
営業外収益合計	853	1,402
営業外費用		
支払利息	36	20
不動産賃貸費用	106	104
その他	57	74
営業外費用合計	201	198
経常利益	3,803	4,165
特別利益		
固定資産売却益	7	57
投資有価証券売却益	147	143
その他	11	—
特別利益合計	167	201
特別損失		
固定資産除却損	6	18
投資有価証券売却損	5	—
災害による損失	14	5
特別損失合計	25	23
税金等調整前四半期純利益	3,944	4,343
法人税、住民税及び事業税	1,511	1,435
過年度法人税等	71	—
法人税等調整額	47	107
法人税等合計	1,630	1,543
少数株主損益調整前四半期純利益	2,314	2,799
四半期純利益	2,314	2,799

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,314	2,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	1,863
繰延ヘッジ損益	8	4
為替換算調整勘定	4	348
持分法適用会社に対する持分相当額	3	12
その他の包括利益合計	350	2,228
四半期包括利益	2,664	5,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,664	5,028
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>30,503</u>	23,151	<u>53,655</u>	1	<u>53,656</u>	—	<u>53,656</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	200	226	2,475	2,701	△2,701	—
計	<u>30,530</u>	23,351	<u>53,881</u>	2,476	<u>56,358</u>	△2,701	<u>53,656</u>
セグメント利益	<u>1,589</u>	2,523	<u>4,112</u>	113	<u>4,226</u>	△1,075	<u>3,151</u>

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,075百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,084百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,543	24,685	58,229	26	58,255	—	58,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	213	214	2,476	2,691	△2,691	—
計	33,545	24,898	58,443	2,503	60,946	△2,691	58,255
セグメント利益	<u>1,518</u>	2,348	<u>3,867</u>	93	<u>3,960</u>	△998	<u>2,962</u>

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△998百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,003百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。